

問1 国際連盟の設立（1920年）から1930年代にかけての日本の国際的地位と動向について、その背景や理由を含めた説明として最も適切なものを選択してください。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 第一次世界大戦後の国際秩序形成において、日本は主要国の一角として常任理事国を務めたが、満州事変後の国際連盟による勧告を拒否して1933年に脱退した。
2. 日本は1920年の設立時には加盟が認められていなかったが、ワシントン会議での軍縮が評価されて常任理事国の地位を得た後、太平洋戦争の勃発までその地位を維持した。
3. 国際連盟において日本は小国の利害を代表する非常任理事国の立場を貫いたが、世界恐慌による経済的混乱を解決できない連盟の無力さに失望して脱退した。
4. 日本は国際連盟設立当初、ドイツの加盟を支持するために常任理事国の地位を一時的に返上したが、後にイタリアとともに復帰し、1933年まで連盟を主導した。

問2 大正デモクラシーの時期、第一次世界大戦へ参戦した当時の社会情勢の中で、吉野作造が唱えた政治思想を何といいますか。主権が誰にあるかを問わず、民意に基づいて民衆の幸福のために政治を行うべきであるとする考え方を選択してください。

（2019年 静岡公立入試 類似）

1. 民本主義
2. 天皇機関説
3. 社会主義
4. 普通選挙

問3 1920年代の日本は、ワシントン会議などの国際会議の結果を受け、欧米諸国との協調を重視する「幣原外交」を展開しました。当時、日本が海軍の軍備制限を受け入れた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 膨大な軍事費による財政負担を軽減し、国際的な孤立を避けるため
2. 国際連盟の常任理事国に選出されるための条件を満たすため
3. 日英同盟を強化し、ロシア（ソ連）の南下政策を阻止するため
4. 満州事変後の国際的な批判をかわし、不戦条約を遵守するため

問4 1918年に富山県の沿岸部から始まり、その後全国へと広がった「米騒動」が起こった背景について、国際情勢との関連を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. ロシア革命の影響が広がるのを防ぐためにシベリア出兵が行われることになり、軍用米の需要を見込んだ商人たちが米を買い占めたことで、米価が急騰した。
2. 義和団事件の鎮圧のために軍隊を派遣した結果、国内の米が不足し、政府が米の配給制を強行したことで都市部の住民が反発した。
3. 日清戦争の開戦に伴い、戦場への食料供給を優先するために農村部から強制的に米を徴収したことが、農民の激しい抵抗を招いた。
4. 徴兵令の施行によって農村の働き手が減少したため、全国的な米不足が発生し、生活に困窮した人々が役所を襲撃した。

問5 1918年に発生した米騒動の影響で寺内正毅内閣が総辞職した後、日本で初めてとなる本格的な政党内閣を組織した人物は誰ですか。（2017年 愛媛公立入試 類似）

1. 原敬
2. 板垣退助
3. 大隈重信
4. 桂太郎

問6 大正時代、政治の目的は民衆の利益に置くべきであり、民衆の意向に従って政治を行うべきであるとする「民本主義」を提唱し、大正デモクラシーの理論的指導者となった人物は誰ですか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 吉野作造
2. 中江兆民
3. 幸徳秋水
4. 田中正造

問7 日本が中国に突きつけた「二十一箇条の要求」の内容の一部で、「中国政府は、ドイツが有する一切の利権を日本にゆずることを承諾すること」と記された地域はどこですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 山東省
2. 遼東半島
3. 南満州
4. 福建省

問8 1918年、ロシア革命の影響を抑えるために政府が決めたシベリア出兵を見越して、商人が米を買い占めたことで価格が急騰しました。これに反発した富山県の漁村の女性たちが起こした行動が全国的な民衆運動へと発展しましたが、この運動の結果、退陣に追い込まれた当時の内閣を次の中から選びなさい。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. 寺内正毅内閣
2. 原敬内閣
3. 加藤高明内閣
4. 犬養毅内閣